

ご存じですか！文化財

「龍藏寺の山門」

5



所在地 大門町18-51
龍藏寺所有

像に普賢菩薩像、文殊菩薩像があり、その周囲には寄進された箱入りの坂東札所三十三観音像、および秩父札所三十四觀音像が並んでいます。

大正8（1919）年には山門の修繕、昭和62（1987）年に瓦替えが行われ、平成8（1996）年には彫刻家板谷慎氏による仁王像の修復が行われました。

阿吽の仁王様に一礼しながら山門をくぐれば、信徒の方もそうではない方も、さまざまなお心に浮かぶことでしょう。皆さんもぜひご拝観ください。

今回ご紹介する文化財は、大門町地内にある「龍藏寺」の山門です。

この山門は、仁王像を安置した楼門造り（最上部にのみ屋根を有する2階建ての門）となっています。当時、三俣村の弥市右衛門が、明治5（1872）年の修驗道廃止令により廢寺となつた羽生の大聖院から寛永通宝（1文銭）2,000枚で買い取り、移築したものでした。運搬の際には、葛西用水の水運を利用してとされていました。

楼門の内部には、閻魔大王座像をはじめ、釈迦如来像、脇侍



龍藏寺山門と平成8年に修復された阿形と吽形の仁王像（拡大写真）

紹介者 鈴木 佳男さん（三俣）



問合せ
生涯学習課
(☎内線352)